

政策評価調書(24年度実績)

政策名	高齢者の元気づくりと新たな支え合いづくり	政策コード	I-2	関係部局名	福祉保健部、商工労働部
-----	----------------------	-------	-----	-------	-------------

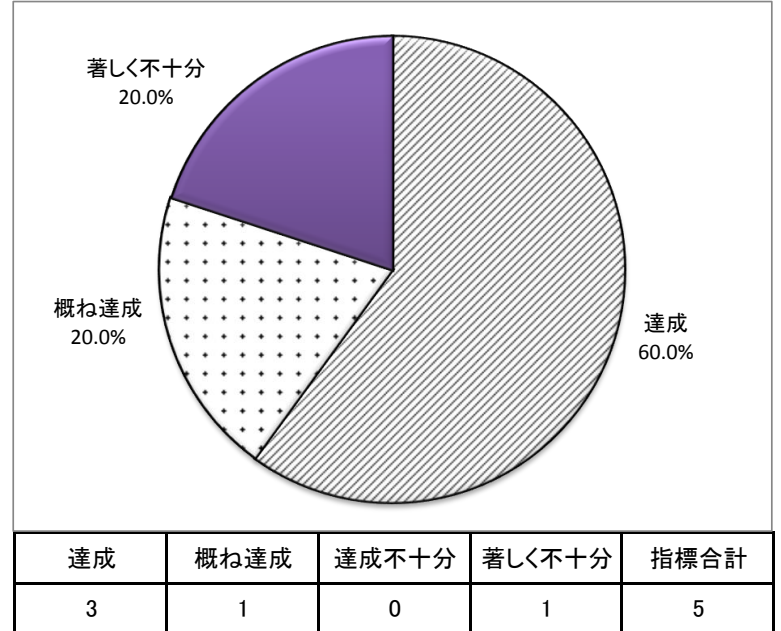
【I. 政策の概要】

高齢者の豊かな知識や経験を生かした子育てやボランティア等の地域活動の促進、スポーツ・文化・学習の機会の確保等による生きがいづくりや、住み慣れた地域で安心して生活を送れるための地域包括ケアシステムの構築などを進める。

【III. 政策を構成する施策の評価結果】

	施策名	指標評価	総合評価
1	高齢者の生きがいづくりの推進	達成	A
2	高齢者が安心して暮らせる地域づくり	概ね達成	B

【II. 構成施策の目標指標の達成状況】



【V. 政策を取り巻く社会経済情勢・今後の動向】

平成25年3月に国立社会保障・人口問題研究所が発表した大分県の将来人口推計によると、2010年の総人口に占める65歳以上人口の割合は26.6%、2020年で32.8%、2030年で34.6%になると推計されている。

高齢化の進展に伴い、高齢者の社会参加を通じた元気づくり、生きがいづくりの重要性がますます高まっており、今後も「ふれあいサロン」など、活動の場の確保が求められる。

平成24年度介護サービス受給者は、5万7千人となり、平成12年度と比較して約2倍となっている。これに伴い介護給付費も急増していることから、介護予防、介護給付費適正化の取組が重要である。

認知症高齢者や重度の要介護者など、日常生活の支援が必要な人が増加しており、こうした高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らしを続けることができるよう、医療・介護・予防・住まい及び生活支援サービスが一体的に提供される「地域包括ケアシステム」の構築をはじめとする福祉サービスの充実が重要になっている。

＜高齢化率の推移＞

(単位: %)

区分	H20	H21	H22	H23	H24
大分県	25.8	26.3	26.6	26.8	27.6
全国	22.1	22.7	23.0	23.3	24.1

【IV. 評価が著しく不十分となった指標】

指標名	達成率
小規模多機能型居宅介護事業所の設置されている日常生活圏域数	78.4%
<p>＜著しく不十分となった理由＞</p> <p>指定権者である市町村が主体となって推進しているが、目標値を下回ることとなった。</p>	